

子どもと保育  
実践研究会  
2024年度

# 夏季全国大会

## 日時

2024年 8月 11日 (日・祝)  
11:30 ~ 18:00 (11:00 受付開始)

## プログラム

11:30 開会挨拶

### 実践提案①

「保育を変えていくとき

・保育が変わっていくとき」

11:35

）

実践提案 澤井陽平 (新大船幼稚園)

13:05

榎本英恵 (新大船幼稚園)

シンポジスト 高嶋景子 (聖心女子大学教授)

松山洋平 (和泉短期大学教授)

三谷大紀 (関東学院大学准教授)

お昼休憩

### 実践提案②

「実践を通して保育の場の「対話」を考える」

14:20

）

実践発表 榎原美帆 (板橋区立向台保育園)

遊佐永一 (板橋区立ゆりの木保育園)

15:50

シンポジスト 岩田恵子 (玉川大学教授)

佐伯絵美 (合同会社子どもベース代表)

コーディネーター 大豆生田啓友 (玉川大学教授)

16:00

）

### 鼎談

佐伯胖 (信濃教育会教育研究所代表)

岩田恵子 高嶋景子

16:50

~17:05

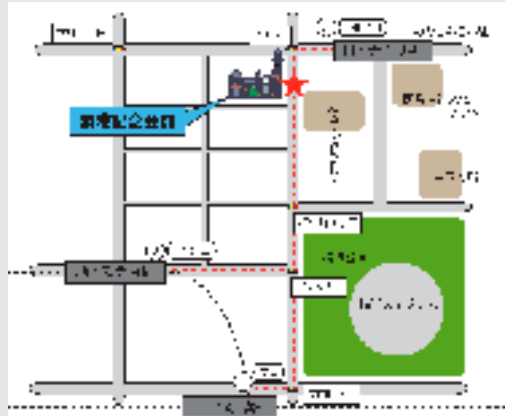
### 総会

オンライン配信終了

17:15~18:00 会場参加者限定「アフタートーク」

## 会場

横浜市開港記念会館  
(神奈川県横浜市中区本町1丁目6番地)



● JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩10分  
市営地下鉄線「関内駅」1番出口から徒歩10分  
みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から徒歩1分  
※駐車・駐輪スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。

定員

100名(先着順)

参加費

会員 ¥3,000

会員外 ¥4,500

学生 ¥1,500

※休憩室で昼食をおとりいただけます。

## オンライン

Zoom ウェビナーを使用したオンライン配信です。

※アフタートークの配信はありません。

参加費

会員 ¥2,000

会員外 ¥3,000

学生 ¥1,000

## 申込み方法

会場で参加される方

<https://kodomotohoiku2024summer.peatix.com/>

申込期限 8月6日(火) 13:00

オンライン参加される方

<https://kodomotohoiku2024summer-online.peatix.com/>

※申込サイトでお申込みできない場合は、メールでご連絡ください。  
※ご入金後キャンセルの場合は返金できません。

## 夏季全国大会開催にあたって

こども家庭庁ができて、国レベルでもこどもまんなか社会の実現へと大きな政策転換が行われようとしています。その一方で、少子化の流れはとどまるところがありません。乳幼児施設では、子どもの数の減少で廃園に追い込まれている園も出てきています。少子化の流れが急に変わるわけではありませんが、少なくとも子どもが大事にされる社会の実現に向けて、各園、各保育者がそれぞれ保育の質を高め、その重要性を広く社会に訴えていく動きを進めていく必要があります。

子どもと保育実践研究会では、これまでも「子どもを一人の人間としてみる」教育や保育の実現を大きな研究のテーマにしてきました。今年の夏季全国大会も、対面を中心にハイブリッドで、提案される実践を中心に、「こどもまんなか」の保育についてみなさんと語り合いたと思います。コロナ禍以前のような、すべて対面で分科会があるような大きな規模ではありませんが、みなさんと一緒に、新たな保育・教育の方向性を考える機会になればと願っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 実践提案要旨

### 実践提案①

#### 「保育を変えていくとき・保育が変わっていくとき」

実践提案 澤井陽平（新大船幼稚園）  
榎本英恵（新大船幼稚園）

既存の保育を変えていくことは、言うほど簡単なことではありません。

今回、実践提案していただく新大船幼稚園も、色々と悩みながら、ここ数年少しずつ保育を変えて行きます。それは、同僚や保護者、そして子どもとともに試行錯誤しながら、新たな園文化、保育観や子ども観、同僚関係や保護者との関係を作っていく過程でもあるようです。

保育を変えていくとき、保育が変わっていくとき、反対に、保育が変わらないときや変われないときには一体何が起きているのかを、具体的な実践事例をもとに皆さんと考える機会としたいと思います。

### 実践提案②

#### 「実践を通して保育の場の「対話」を考える」

実践発表 榊原美帆（板橋区立向台保育園）  
遊佐永一（板橋区立ゆりの木保育園）

いま、「子どもの声を聴く」ことや、「対話」が保育の場の大きなテーマとなっています。

では、「対話」とはどのようなことなのでしょう？対話がうまくいかないといった声もよく聞きます。丸くなる対話もあれば、日常の中にもたくさん対話の場面はあります。

そこで、このシンポジウムでは、保育の場における「対話」について、2歳児と5歳児の実践事例を通して考えてみたいと思います。

## 実践と対話

「実践と対話」では、実践提案をいただいた後、少人数のグループによるディスカッションで実践提案から得た気づきや課題などを共有します。皆様とより近い距離で語り合い学び合う場です。

<第3回> 7月27日(土)19:00~20:30  
「こんな時どうする?こうしてみたけど・・・」  
～トレードセンターの実践事例をもとに～  
実践提案・コーディネーター:木村創  
コーディネーター:澤井陽平・三谷大紀

申込等詳細はHPをご覧ください。  
第4回以降は9月・10月・11月・2025年2月に開催予定です。

## 子どもと保育実践研究会 会員のご案内

<年会費>

- 個人会員 3,000円
  - 団体会員 30,000円/1団体  
(幼稚園・保育園・認定こども園として加入)
  - 地区研究会会員 3,000円/1名(1地区8名以上)
  - 賛助会員 年会費+3,000円以上
- ※賛助会員のための申し込みはできません。

<会員特典>

- ・セミナーへの会員価格での参加
- ・年2回NEWSLETTERの発行 など

申込等詳細はHPをご覧ください。

## 会場参加者限定！「アフタートーク」

会場で参加された方々限定で、2つの実践提案をもとに、バズ・セッションを行います。

実践提案を聞いて終わりではなく、そこから考えたことを対面で発信し合い、学びを深める時間としたいと思います。

